

広域振興局長

提出者

住所 029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山1番地

氏名 トヨタ自動車東日本(株)岩手工場

工場長 藤井 雅則

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	トヨタ自動車東日本株式会社 岩手工場	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	胆沢郡金ケ崎町西根森山1番地	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	31,002 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

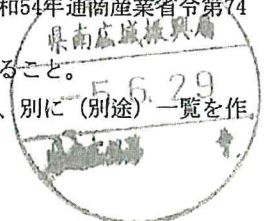
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
トヨタ自動車東日本株式会社 岩手工場	〒029-4503 胆沢郡金ケ崎町西根森山1番地	31,002 kℓ
		kℓ
		kℓ

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

(A4)



別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	前年度の排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
揮発油	kℓ		2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
灯油	43 kℓ	41	2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	106.7	112	▲ 5		
軽油	25.0 kℓ	24	2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	64.6	56.8	14		
A重油	108 kℓ	109	2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	291.6	187	56		
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	30 t	39	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t	88.7	144	▲ 38	
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>		2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO <sub>2</sub> /t				
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>		2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>				
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO <sub>2</sub> /t				
	一般炭	t		2.33 t-CO <sub>2</sub> /t				
	無煙炭	t		2.52 t-CO <sub>2</sub> /t				
石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t					
コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t					
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス	21,233 千m <sup>3</sup>	24,651	2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	47348.5	43754.8	8	
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
	( )	( )		t-CO <sub>2</sub> /( )				
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
小計			24864	47900.1	44254.6	8		
電気	電気事業者	昼間買電	12,745 千kWh	3278	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	6219.4	6159.9	1
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	9,921 千kWh	2552				
		夜間買電	11,947 千kWh	2860	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	5830.1	6670.4	▲ 13
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	62,585 千kWh					
小計		87,277 千kWh	6138	12049.5	12830.3	▲ 6		
合計			31002	59949.6	57084.9	5		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

## 2 地球温暖化対策計画の達成状況

### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

2035年カーボンニュートラル達成

### 【実績】

管理改善、低減活動により、2013年度比  
総量は15.6%削減

一方、対前年度比は生産台数で約5%の増産及び2022年3月16日に発生した福島県沖地震により蒸気配管が損傷し地震による災害復旧及びコロナ過による、補修部品の長納期化により重油仕様のバックアップボイラーを運転した為CO2排出量5%増加

### 【具体的な取組状況】

- ・省エネ目標を各課に割り振り、活動を実施。進捗状況を毎月の環境会議にてフォロー
- ・低減目標を必ず達成する為、省エネ目標を上乗せして活動
- ・令和5年度の具体的な取り組み
  - ・太陽光発電設備の拡大
  - ・熱エネルギーロス低減を目指した暖房エネルギーの低減
  - ・横展活動の実施による、トヨタグループ・工場間アイテムの情報共有とやりつくし
  - ・水銀灯及び蛍光灯照明のLED化による電力低減
  - ・エアーカーテンのヒートポンプ化による蒸気レス
  - ・電動ブロー活用によるエアー送気レス
  - ・エアー圧力低減による使用量の最適化

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

## 3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・地中熱活用による融雪の計画
- ・雪山冷熱を利用した冷房の推進